

■第2期子ども・子育て支援事業計画進捗状況報告書（令和2年度版）案に対する委員意見一覧

No.	該当部分	意見	報告書への記載（案）	意見を踏まえた対応
1	P2 ◇第2期東村山市子ども・子育て支援事業計画 について	第1期計画の進捗状況報告書には、計画の目的として「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域子ども子育て支援の量的拡充と質的改善を図ることを目的に…」と記載されている。第2期計画の進捗状況報告書にも、第2期計画の目的を明確に記載した方がよい。	「◇第2期東村山市子ども・子育て支援事業計画」に、第2期計画の目的を記載する。	追記・修正しました。
2	P3 ◇評価についての項目の前	p.4以降の各項目の評価において、新型コロナウイルス感染症の影響に関する記述が散見される。評価に入る前に、独立した項目として「新型コロナウイルス感染症の影響と対策」について概括的に記述したほうがよい。	P.3の前のページに、新型コロナウイルス感染症の影響及び対策について、市内の状況および本市としての対応策を記述する。	追記・修正しました。
3	P3 ◇評価について「評価の基準」	評価の基準にあいまいな部分があるように思う。各区分の違いが明確になるように基準を設定したほうがよい。	何をもち「十分」と評価できるのかが不明確なので、Aについては「積極的な行政の働きかけにより、確保の方策以上の成果が達成された」、Bについては「積極的な行政の働きかけを行い、確保の方策は概ね達成された」及び「積極的な行政の働きかけを行ったものの、確保の方策以上の需要があった」の2区分に分ける等、行政の一定の働きかけと成果を区分した上での評価とする。	追記・修正しました。 なお、確保の方策に対する達成状況については、「計画の達成状況」欄で評価しています。「総合評価」欄は、「計画の達成状況」に着目したうえで、「令和2年度の成果」欄の内容、成果に至るまでの行政の働きかけ等も加味して、総合的に成果を評価しています。
4	P4～21 計画上の実績「確保の方策」「確保の実績」「過不足」の表	第2期計画の進捗報告書であるため、令和2年度からの評価になることは分かるが、第1期計画からの推移が分かるように参考値として令和元年度の確保の方策及び確保の実績も掲載したほうがよい。	令和2年度の左に参考値として令和元年度の「確保の方策」「確保の実績」「過不足」の数値を掲載する。	別紙資料を作成しました。

No.	該当部分	意見	報告書への記載（案）	意見を踏まえた対応
5	P4 (1) 1号認定	確保の方策、確保の実績、実際の利用者数それぞれの推移を文章で読み込むのは難しい。	令和元年度の「確保の方策」「確保の実績」「実際の利用者」の数値が掲載してあれば読みやすくなる。また、「確保の実績」や「実際の利用者」の数値について、令和元年度と令和2年度の差分はどれくらいか、1号認定の実績に含まれるのか2号認定の実績に含まれるのかを記載すれば混乱が少なくて済む。	追記・修正を行いました。また、第1期計画において1号認定と位置付けていた幼稚園の預かり保育を、第2期計画では2号認定に位置付けたことに伴い、1号認定及び2号認定の「確保の実績」「実際の利用者数」が増減していることが分かりやすくなるよう、別紙資料を作成しました。
6	P5 (2) 2号認定 令和2年度の成果欄	「2号児」という表記と「2号認定」という表記がある。どちらかの表記に統一したほうがよい。 また、報告書全体を改めて確認し、体裁や文言の調整等を行ったほうがよい。	「2号児の受け皿としての…」を「2号認定の受け皿としての…」に変える。 報告書全体を改めて確認し、体裁や文言の調整等を行う。	追記・修正しました。
7	P5 (2) 2号認定 令和2年度の成果欄	計画の達成状況115%というのは必要以上に整備しているという印象を持つが、実際の利用者数との関係で言えば確保の実績の数値がちょうど充足している。これを示すために、実際の利用者数に対する受け皿の確保状況（この場合、102%）を記載する必要があると考える。	令和2年度の成果欄に記載してある「【実績】実際の利用者数1916人」の所に、実際の利用者数に対する受け皿の確保状況（この場合、102%）を記載する。	追記・修正しました。
8	P6 (3) 3号認定の表題	提供体制に第2期計画より『企業主導型保育事業の地域枠』も追記した方がよい。	「(3) 3号認定【0～2歳保育認定：保育所・認定こども園・地域型保育事業】」を「(3) 3号認定【0～2歳保育認定：保育所・認定こども園・地域型保育事業・企業主導型保育事業の地域枠】」に変える。	追記・修正しました。 なお、当市では、施設類型ではなく、支給認定区分ごとの受け皿に着目して提供体制の整備を進めていることから、施設類型毎ではなく受け皿総体としての確保の実績を記載しています。

No.	該当部分	意見	報告書への記載（案）	意見を踏まえた対応
9	P7 (3) 3号認定②1～2歳児 令和2年度の成果欄	「…実際の利用者数を上回ることができましたが…」と記載している部分を、「実際の利用者数を上回る受け皿を確保することができた」とした方がより分かりやすくなる。	「…実際の利用者数を上回ることができましたが…」を「…実際の利用者数を上回る受け皿を確保することができましたが…」に変える。	追記・修正しました。
10	P7 (3) 3号認定②1～2歳児 P8 (1) 利用者支援事業 総合評価	P7とP8の総合評価の考え方が違うように感じる。具体的には、P7では、計画の達成状況が102%であるものの、待機児童の多さから総合評価をBとしている。一方で、P8では、計画の達成状況が100%であることから、実態としての相談件数が減少しているにもかかわらず総合評価をAとしている。形としての基準は満たしているのはわかるが、機能としてはコロナの影響をカバーしきれていないということを総合評価に取り入れるべきと考える。		会議でご議論いただいた結果を踏まえ、対応します。
11	P11 (4) 多様な主体が本制度に 参入することを促進するための事業 P12 (5) 放課後児童健全育成事業 (児童クラブ)	「民間保育施設整備等希望事業者登録制度」「東村山市児童館・児童クラブ運営等検討会」用語の解説があった方がわかりやすい。	「民間保育施設整備等希望事業者登録制度」「東村山市児童館・児童クラブ運営等検討会」用語の解説を記載する。	別紙資料を作成しました。
12	P12 (5) 放課後児童健全育成事業 (児童クラブ)令和2年度の成果欄	「…児童一人当たりの必要面積を満たした…」という記載に数値を入れて、「…児童一人当たりの必要面積(おおむね1.65㎡以上)を満たした…」としたほうが分かりやすい。	「…児童一人当たりの必要面積を満たした…」を「…児童一人当たりの必要面積(おおむね1.65㎡以上)を満たした…」に変える。	追記・修正しました。
13	P14 (7) 乳児家庭全戸訪問事業	第2期事業計画では、確保の方策に数値を入れているので、他事業と同じく計画上の実績の表を記載したほうがいい。 また、令和2年度の成果欄に、昨年度の訪問率を記載したほうが分かりやすい。	計画上の実績を記載する。また、令和2年度の成果欄に昨年度の訪問率を記載する。	追記・修正しました。

No.	該当部分	意見	報告書への記載（案）	意見を踏まえた対応
14	P17 (9) 地域子育て支援拠点事業 今後の取り組みの方向性欄	第2期事業計画の<今後>欄に記載されている「公共施設等を活用した「出張ひろば」の実施や、高齢者等の多様な世代との交流等について検討していきます。」の文言を入れた方がいい。	今後の取り組みの方向性欄に「公共施設等を活用した「出張ひろば」の実施や、高齢者等の多様な世代との交流等について検討していきます。」と記載する。	出張ひろばの実施や高齢者等の多様な世代との交流を促進する取り組みについて研究を行いつつ、まずは、コロナ禍においても乳幼児のいる家庭が安心して子育てが行えるような環境作りに最優先に取り組んでいくことを主眼に置いた記載に追記・修正を行う
15	P18 (10) 一時預かり事業①幼稚園における一時預かり（預かり保育） 令和2年度の成果欄	「令和2年度時点で、幼稚園全施設及び認定こども園(保育所型を除く)合わせて11施設で実施」等という数値の記載を加えたほうがいい。	「令和2年度時点で、幼稚園全施設及び認定こども園(保育所型を除く)合わせて11施設で実施」という記載を加える。	追記・修正しました。
16	P30 その他子育て支援施策（4）障害児施策の充実等 ②相談支援の充実	転学相談件数の実績の記載が重複している。	重複している転学相談件数の実績の記載を1行消す。	追記・修正しました。

※ご提出頂いた意見については、趣旨を変えない範囲で一部事務局にて整えさせて頂いています。ご了承ください。